



IQVIA CAGTセミナー2025

Ex vivo遺伝子治療研究開発の最前線と、再生医療等製品の臨床開発の現状とその洞察

本セミナーでは、「Ex vivo 遺伝子治療研究開発の最前線と、再生医療等製品の臨床開発の現状とその洞察」をテーマに、本領域に携わる皆様方と最新の知見を共有し、遺伝子治療・細胞治療の前進に資することを目的としております。本年は、がん特異的細胞表面抗原の同定およびCAR-T細胞療法の開発の第一人者である保仙 直毅 先生および元PMDAで再生医療等製品の審査に携わられておられた嶽北 和宏 先生を特別講師としてお迎えし、CAR-T開発を含めたex vivo 遺伝子治療研究開発の現状と展望、PMDA視点からの再生医療等製品の臨床開発の課題やその洞察等についてご講演いただきます。

ご多用の折とは存じますが、ぜひ、ご来臨賜りたくご案内申し上げます。

2025年12月1日(月)

14:30-16:20 受付開始 14:00/ 意見交換会 16:20-17:30

IQVIAジャパン グループ 品川本社 8F会議室

プログラム

※プログラムは変更になる場合がございます。

Introduction

藤原和利

IQVIAサービシーズ ジャパン合同会社 Clinical Project Management/Leadership Sr.Clinical Project Manager

特別講演 1 Ex vivo 遺伝子細胞治療の現状と展望

CAR-T細胞の血液がんに対する効果は驚異的である。固形がんを標的としたものでも有効例が報告されるようになり、また、自己免疫疾患への応用へも始まっている。わが国においては、それらを使いこなすことについては良い体制が築かれつつある一方で、新規の遺伝子細胞治療開発へ向けての体制は、海外と比較して十分とは言えないのが現状である。本講演では、これらの現状の紹介に加え、今後の展望についても述べる。



保仙直毅 先生

大阪大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授

特別講演 2

ヒト細胞加工製品の臨床試験デザインの相談ポイント

ヒト細胞加工製品の治験では、医薬品の治験と同様に科学的妥当性と被験者の安全確保が不可欠であると同時に、ヒトから採取する細胞・組織を出発物質とし、数多くのヒト動物由来成分を使用するならではの数多くのリミテーションがある。医薬品での治験デザインとの異同を比較しつつヒト細胞加工製品の治験デザインや審査での論点について概説したい。



嶽北和宏 先生

株式会社Hyperion Drug Discovery 代表取締役
株式会社ピーチコンサルティング 代表取締役

お申込み方法 登録専用サイトよりご登録下さい。

登録専用サイト：<https://www.events.iqvia.com/CAGTseminar2025>

申し込み期日：**2025年11月26日（水）18:00**



- ・ 本会は、ご招待者様限りのご参加とさせていただきます。
- ・ 誠に勝手ながら定員となり次第、締切らせていただきますのでご了承下さい。
- ・ ご不明点がございましたら、弊社セミナー事務局までご連絡ください。お問い合わせ先：Seminar-japan@iqvia.com
- ・ 意見交換会では、ささやかですが軽食をご用意しております。



IQVIA CAGTセミナー2025

会場：IQVIAジャングループ 品川本社 8F会議室

JR山手線 品川駅 高輪口 徒歩2分
JR横須賀線 品川駅 高輪口 徒歩2分
JR京浜東北線 品川駅 高輪口 徒歩2分
JR東海道本線 品川駅 高輪口 徒歩2分
京浜急行線 品川駅 高輪口 徒歩1分

主催：IQVIAジャパン グループ IQVIAサービシーズ ジャパン合同会社

〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-18 京急第一ビル

問い合わせ先：IQVIA セミナー事務局 e-mail：seminar-japan@iqvia.com

Copyright © 2025 IQVIA. All rights reserved. EF-1087-1-09.2025-JP-Japanese

会場地図はこちらから⇒
東京都港区高輪4-10-18
京急第一ビル

